

津麦ニュース 令和7年産 第1報

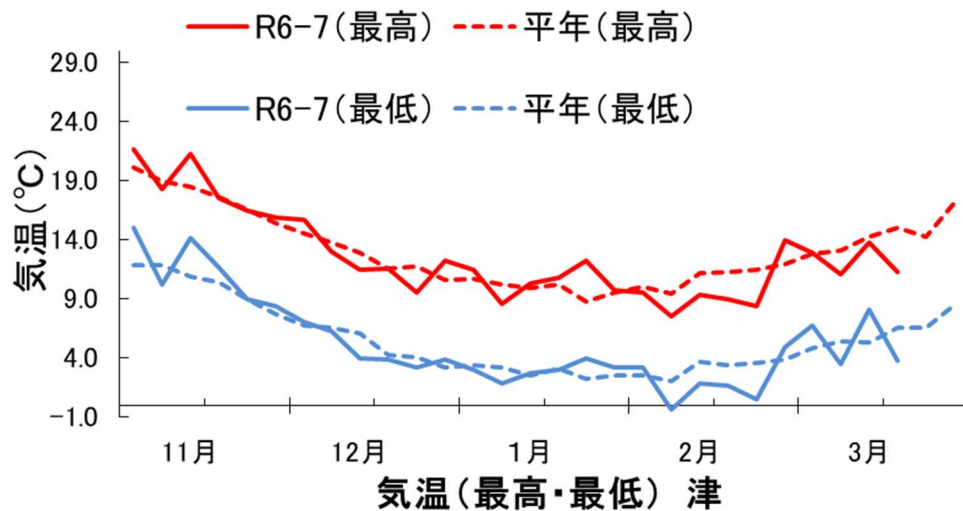
令和7年3月26日発行
津地域農業改良普及センター
電話:059-223-5103

麦の生育は平年よりも遅い状況です。
赤かび病防除は2回を基本とし適期防除に努めましょう。

< 気象経過 >

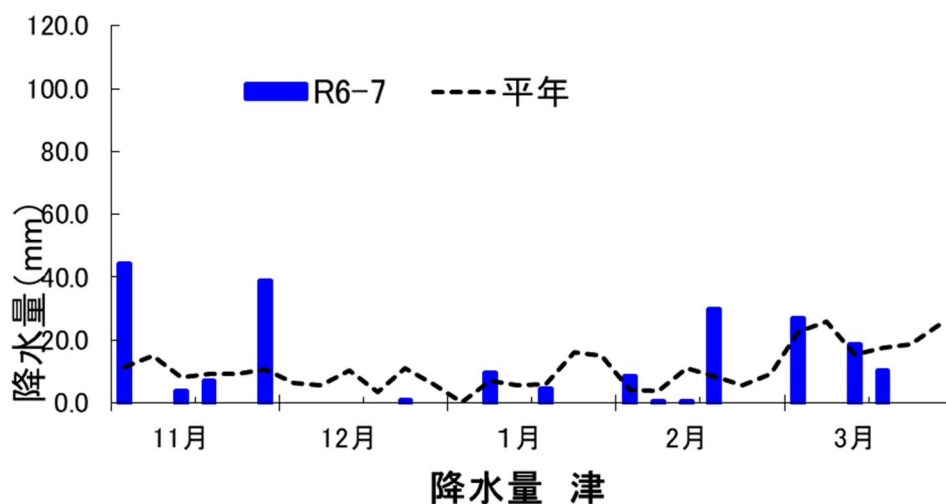
○気温

11月の気温は平年並みから高くなりました。1月中下旬には平年よりも高く推移しましたが、12月から3月にかけては概ね平年よりも低く推移しました。



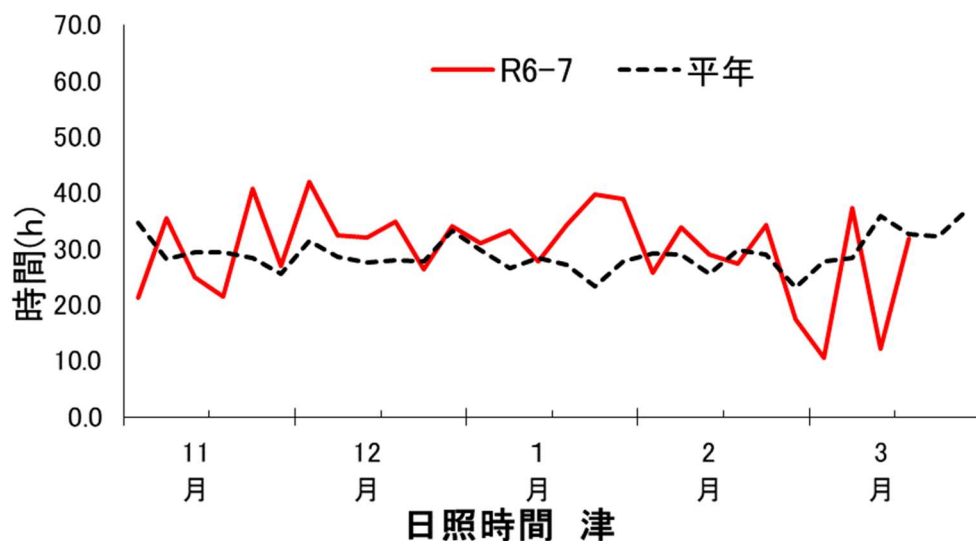
○降水量

11月第1半旬、第6半旬には降水量が多くなりました。12月から1月にかけてはほとんど降水がない状況となりましたが、2月から3月には定期的な降水がありました。11月第1半旬から3月第4半旬までの降水量は、平年比73%となりました。



○日照時間

11月中旬には日照時間が少なく推移しましたが、11月下旬から2月中旬までは概ね多く推移しました。2月下旬から3月中旬は曇りや降水があり、日照時間が少なくなっています。11月第1半旬から3月第4半旬までの日照時間は平年比104%となっています。



<麦の状況>

○ 生育状況

早いほ場では11月上旬から播種が行われましたが、定期的な降雨により11月下旬が播種のピークとなりました。12月、1月は降雨がほとんどなく、1月下旬は気温がやや高く推移しましたが、12月から2月にかけて気温が低く推移したため、生育は遅れている状況です。

令和7年産小麦の生育基準田においては、7枚目の葉が展開中であり、幼穂 1～2mm 程度で、概ね幼穂形成期を迎えています。令和2年から6年までの過去5年の平均と比較すると、1～2葉程度生育が遅れています。

○令和7年産(令和6年播)小麦生育基準田の状況

小麦(あやひかり)生育調査データ

令和7年産小麦

令和7.3.14時点

調査場所	播種月日	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色SPAD	葉齢 L	播種後日数
芸濃	11月23日	16.3	520.0	45.5	6.2	111
安東	11月29日	18.5	462.0	48.4	6.0	105
白山	11月20日	19.5	412.6	44.3	6.3	114

(参考)

過去5年平均(令和2年～令和6年)

調査場所	播種月日	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色SPAD	葉齢 L	播種後日数
芸濃	11月15日頃	34.8	597.6	42.9	7.5	122.6
殿村	11月10日頃	42.5	570.0	43.1	8.7	125.8
白山	11月13日頃	48.5	629.6	46.8	8.5	124.2

＜今後の対策＞

○排水口、ほ場の明きょ(周囲溝、排水溝)等の点検

4月以降は降雨が多くなる傾向があります。今のうちに排水溝の点検、補修を行いましょう。また、降雨後の排水状況を確認し、滞水しているようであれば溝を掘りなおすなどの対応を行いましょう。

○追肥

11月中旬からの播種では、3月下旬から4月上旬にかけて止葉抽出期となるほ場があります。この時期に窒素成分で2～3 kg/10aを目安に追肥を施用しましょう。

基肥一発肥料の場合は、葉色が薄く(SPADで40未満)なり、肥料切れの兆候が見られる場合は、止葉抽出期に窒素成分で2 kg程度/10aを目安に追肥してください。

止葉抽出期の生育量の日安

草丈:44～47cm 茎数:570～600本/㎡ 葉色:40(SPAD)

※草丈が50cmを超えて、かつ茎数が700本/㎡以上と非常に多く、葉色が濃い場合は倒伏の危険があるので追肥を控えましょう。

○赤かび病防除

赤かび病は小麦の重要病害です。感染すると不稔やくずが増えます。またカビ毒の問題があり、被害粒の混入は厳しく規制されています。赤かび病菌が産生するカビ毒のデオキシニバレノール(DON)は健康への悪影響があり、食品衛生法により基準値を超えた麦は食用として流通することができません。

赤かび病防除は2回防除を基本とし、開花始期と開花盛期(開花始期から7～10日後)に実施してください。開花前や開花後では防除効果が劣るため、開花を確認してから適期を見逃さないようにしてください。

例年、4月下旬から5月は定期的な降雨があり、中山間地域を中心に湿度の高いエリアや風通しの悪いエリアにおいて赤かび病の多発が予想されます。赤かび病が多発するようなエリアでは追加の防除を実施してください。追加防除の実施においては、収穫前日数に注意し、使用する薬剤を選択してください。

○適期収穫

麦の収穫適期の目安は**穀粒水分27～28%になった頃**です。

- ①成熟期前後に雨にあたると穂発芽の発生や、容積重が低下、外観も悪化して品質の低下につながります。今後の天気を考慮し、雨が続きそうな場合は少し早めから収穫を開始しましょう。
- ②あやひかりは白穂品種で収穫時期が判別しにくいので、水分測定を行って刈り取り時期を判断しましょう。
- ③今年の生育予測によると、5月第6半旬から成熟期を迎える予測です。

平年よりも収穫時期が2日程度早い見込みとなっています。

収穫作業の準備は早めに行い、生育状況を注視して、適期作業に努めましょう。

○小麦生育予測

令和7年3月25日時点

品種	播種月日	出穂期	開花期	成熟期
あやひかり	11月5日	4月7日	4月16日	5月30日
	11月15日	4月10日	4月19日	6月1日
	11月25日	4月15日	4月23日	6月3日

※メッシュ農業気象・麦生育システムver2.1による予測です。

津市平野部の気象データを使用しました。

◇気象1か月予報

名古屋地方气象台、3月20日発表の1か月予報では、期間の前半は気温がかなり高くなると予報されています。1週目から2週目の3月22日～3月28日の気温は平年より高く、2週目から3週目はほぼ平年並みの見込みです。降水量、日照時間は平年並みとなる見込みです。